

三河湾では、アサリのほかにもたくさんの貝が採れます。ウチムラサキ（大アサリ）のほかタイラギ（平貝）、ミルクイ（ミルガイ）、ナミガイ（白ミル）などさまざまな種類が生息しています。

潜水漁は、ウエットスーツを着て、ボンベで呼吸をしながら水深5〜20mの海底で漁を行います。ヒューガルポンプを使って水圧で海底を掘り、貝を採る漁法で、漁は年中行われています。真冬は海の水が澄んでおり、たくさんの貝が採れるため、体の芯まで冷えるような冷たい海の中にも漁師たちは果敢に飛び込みます。



潜水漁

次の世代が働くことができる海を残すために

GO!貝軍団とは？

漁師の暮らしを考えるために、中山・小中山・渥美漁協の有志で集まり、漁業の課題などを話し合っている「漁栄会」。そのメンバーの中で、貝のPRをしようと動き出したのが、GO!貝軍団です。

1人でも多くの方にアサリを届けたい

貝をPRするために、菜の花まつりや市民館まつりなど田原市で開催されるさまざまなイベントに出展しています。また、可能な範囲で市外へも出向いています。声を掛けていただければ、できる限り出展したいと思っています。

表紙に掲載した
GO!貝軍団
会長 山本真也さん

アサリ好きが増えてきた!?

今の子どもたちは食わず嫌いで貝を食べない子や嫌いな子が多いですが、私たちの貝を食べて、好きになったという声を聞きます。また、親子でいろいろなイベントに来てくれるリピーターもできました。お客さんから、個人的にアサリを頼まれることも増えており、活動していくことで、どんどん渥美のアサリを好きな人が増えていっていると実感しています。



活動から見たもの

イベントなどで、提供するアサリが十分に準備できないことがあり、せっかく待っていてくれるお客さんに貝が届けられず悔しい思いをしました。今、あらためて「育てる漁業」が大切だと感じています。安定した供給ができるようにしていきたいですね。

GO!貝軍団の目指すところ

これからの漁師は、ただ貝や魚を採っているだけでは生活が成り立ちません。GO!貝軍団として活動していると消費者の声を生で聞くことができ、これからどうしていかなければならないか考えるようになりました。

軍団みんなの思いは一つ、「地元のを豊かにし、子どもたちが大人になったときに、海で働けるようにしてあげたい」。その目標に向かって、これからもみんなで盛り上げていきます!イベントなどで見かけたら、ぜひ自慢のアサリを食べに来てください!

